

消化器内科

担当医より

内科か外科かで紹介先を迷われる場合、まずは当科へご紹介ください。

手術が最善と判断した場合には、外科へ紹介いたします。

B型やC型のウイルス性肝疾患

治療費助成

◆抗ウイルス療法

薬によりウイルスの増殖を抑えたり、完全排除を目的とした治療法です。非アルコール性脂肪性肝疾患や糖尿病は、肝がんの高危険群であるため、腹部エコー・CT・MRIなどの画像検査にて肝がん合併の有無の精査を行っています。

※肝臓の線維化を評価するエコー検査『SWE(Shear wave elastography)』があります。
検査をご希望時には当科までご紹介ください。

肝がん

◆肝動脈塞栓術

足の付け根の動脈からカテーテルを挿入し、肝臓内の腫瘍を栄養する細い動脈までカテーテルを進めます。そこで抗がん剤などを入れ、動脈の血流を遮断し、腫瘍細胞を壊死させる方法です。

◆ラジオ波焼灼術

超音波で腫瘍を確認しながら専用の針を刺し、通電することで針の周囲を熱で焼灼して腫瘍を死滅させる治療法です。

早期食道がん・早期胃がん・早期大腸がん・大腸ポリープ

◆粘膜下層剥離術（内視鏡治療）

早期がんの病変に対して、胃カメラや大腸カメラで消化管の内腔から粘膜層を含めた粘膜下層までを剥離し、病変を一括切除します。

早期食道がん・早期胃がんだけでなく、早期大腸がんやサイズの大きい大腸ポリープに対しても行っています。

※小さな大腸ポリープに対しては、大腸ポリープ切除術を行います。

【入院期間】早期食道がん・胃がん：2週間、早期大腸がん：1週間、大腸ポリープ：3日間

総胆管結石

◆逆行性胆管膵管造影下の碎石術／ステント挿入

内視鏡を使って胆管・膵管を造影する検査を行います。口から十二指腸まで内視鏡（胃カメラ）を入れ、その先端から胆管・膵管の中にカテーテルを挿入します。カテーテルから造影剤を入れて、胆管や膵管のX線写真をとります。胆管内の結石に対し、碎石術やステント挿入を行います。同時に胆汁や膵液を採取し、細胞の検査を行うこともあります。

社会医療法人 潤心会

熊本セントラル病院

〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水2921



096-340-5001 (代表)

096-285-5453 (地域連携部)



aaa@kchosp.or.jp

